

# Hekikai Report

地域金融機関として  
伝えるビジネスの  
“今”と“これから”

〈企画・編集〉  
碧海信用金庫  
経営企画部 企画グループ  
<https://www.hekishin.jp/>



● 企業訪問 地域の躍動企業

ヤマダインフラテクノス株式会社  
代表取締役 山田 博文 氏

● 特集 知ればもっと面白い! 注目のパラスポーツ

● お役立ちコラム 知っておきたい税情報

「事業所得」と「雑所得」の区分

● お役立ちコラム 働く人のメンタルヘルス

春に気をつけたいコミュニケーションとメンタルケア

● 地域の景気動向 2026年3月調査

● SDGsレポート vol.25 (2026年1月~3月)

● Topics 「へきしんSLL」成約記念盾贈呈式を  
開催しました

企業訪問

# 地域の躍動企業



## SPECIAL INTERVIEW

東海北支店お取引先 ヤマダインフラテクノス株式会社

代表取締役 山田 博文氏

ヤマダインフラテクノス株式会社は、橋梁など鋼構造物をはじめ、インフラ構造物全般の補修・補強を専門に手掛ける企業です。特に橋梁塗装においては、腐食予防と疲労耐久性を向上させる独自の工法を開発し、数々の賞を受賞するなど高い技術を誇ります。「ごみを減らして世界を変える」をモットーとする山田社長に、これまでの歩みと今後の展望を伺いました。

# 高い技術と環境配慮で 次世代の橋梁保全と建

## 原子力発電所で培った塗装技術を インフラ補修に活かし、 業界の当たり前を塗り替えた

—創業からの歩みについて教えてください。

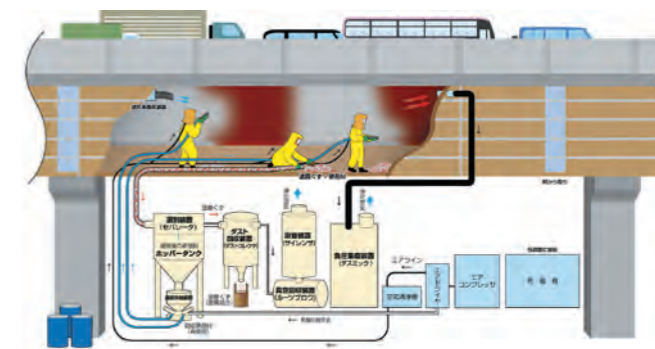
当社は1953年に山田ペンキとして創業し、造船および製鉄所の建設工事における塗装作業に携わっておりました。1965年には山田塗装株式会社を設立し、日本各地のインフラ建設に貢献。1970年代後半からは国の施策に伴い、高度な技術を要する原子力発電所の塗装に参入し、国内の原子力発電所の塗装の7割を担い、「原子力の山田」といわれるほどになりました。大きな転換点は2005年の「鋼道路橋塗装・防食便覧」の改定です。橋梁メンテナンスの主流が、錆の上から塗る手法から、塗膜や錆を完全に除去して素地を整える「ブラスト工法」へと大きく舵を切ることが示されました。この制度変更は、原子炉塗装という厳しい施工環境で培った弊社のブラスト技術を最大限に活かせるものと考え、市場の動向を先読みし、当時主にマンション建設の塗装を手掛けていた弊社は橋梁補修・補強事業へと全面的にシフトしました。その後、環境にやさしい新工法「循環式エコクリーンブラスト工法（現：循環式ブラスト工法）」を開発し、2015年にヤマダインフラテクノス株式会社に社名を変更。2018年には岐阜大学との共同研究により「エコクリーンハイブリッド工法（現：循環式ショットピーニング工法）」を確立しました。「ごみを減らして世界を変える」という弊社のモットーは、今や建設業界の新たな基準となりつつあります。私たちは、これまでの業界の「当たり前」を塗り替え、持続可能な未来に向けた挑戦を続けています。



◀2024年、長年にわたる技術の改良考案に従事し、技術の発展に尽力したことについて黄綬褒章を授与された

—建設業界で広く普及した循環式ブラスト工法についてお聞かせください。

従来のブラスト工法では、古い塗装の除去に使う研磨剤や、はがれた塗膜くずなど、大量の産業廃棄物が発生してしまうのが大きな課題でした。さらに、その処理コストも非常に高額です。そこで思い出したのが、原子力発電所における鉄粒（金属製研削材）を用いた塗装除去技術でした。回収された研削材と塗膜くずを選別装置で重量差により分離し、研削材のみを再利用できる仕組みです。この構想をもとに10年かけて循環式ブラスト工法を開発。その結果、産業廃棄物の量を従来の40分の1から50分の1まで削減することができました。この工法は2010年に新技術登録システム「NETIS」にも登録されました。産業廃棄物削減は、弊社だけが取り組んでも意味がなく、建設業界全体で取り組むべき課題です。そのため、あえて特許は取得せず、この工法を広く活用してもらいたいと考えました。



▲研削材には金属系のスチールグリットを使用。回収された研削材は塗膜くずとともに真空回収装置によって回収され、選別装置で重量差によって塗膜くずと選別される。その後、再び、噴射されるという循環再利用システム

# 実現する 建設業界のイメージ刷新

—業界の常識を塗り替えた、循環式ショットピーニング工法について教えてください。

橋梁の主な損傷は「腐食」と「疲労き裂」の2つです。従来、き裂は発生してから補修を行う「事後保全」が一般的でした。そこで着目したのが、研削材の代わりに鉄の球体を打ち付けることで金属の強度を高める技術です。この方法は刀鍛冶の技法にも通じるもので、「ショットピーニング法」として航空機や自動車業界ですでに活用されている「予防保全」であり、それを橋梁分野へ応用しました。当初は、橋梁にショットピーニング法を用いるのは無謀だといわれることもありましたが、岐阜大学の研究室との連携により、循環式プラスト工法による塗装修繕と、ショットピーニング技術による疲労き裂の予防を組み合わせ合わせた循環式ショットピーニング工法を共同開発することができました。本工法については特許を取得しており、循環式プラスト工法が普及する中で、他社との差別化を図り、競争力を高めるための戦略の一つになっています。

## 建設業界の魅力発信が持続的発展の鍵になる

—「ウシワカ・プロジェクト」とは何ですか。

橋梁保全に携わる若手技術者たちをクローズアップし、番組として広く発信していく取り組みです。京都の五条大橋で、武蔵坊弁慶を相手に縦横無尽に飛び交い戦った牛若丸にちなみ、このプロジェクト名が付けられました。2021年にスタートし、現在は第6章の準備中です。

プロジェクトを始めた背景には、少子高齢化に伴う建設業界の担い手不足があります。以前は「3K」といわれていた建設業の仕事も、現在では「5K」と呼ばれるようになり、賃金や地位の向上など、業界には多くの課題が山積みです。私自身、現場で働いた経験から強く感じるのは、この仕事の魅力が伝わっていないことです。「立派な橋を架けた」「この橋をきれいにした」「これほど多くの橋を手掛けた」と、子どもたちに誇れる仕事をしているのに、世の中で注目されないのはおかしいと思っています。この番組をきっかけに採用につながることを期待すると同時に、出演者自身のモチベーション向上にもつながればと考えています。

さらに、このプロジェクトをきっかけに「牛若勉強会」も開催しています。各社の出演社員が年1回集まり、意見交換や個人の目標の共有、将来どんな人間になりたいかという志の発表

循環式プラスト工法による橋梁の補修・修繕が一般化した今、山田社長は、橋梁の疲労き裂を予防できる循環式ショットピーニング工法を導入することが「戦わずして勝つ」という戦略につながると話す

を行います。大学の先生を講師に招き、自社だけでは得られない学びや、横のつながりを作る場としています。



▲橋梁保全工事の魅力や重要性を番組を通じて発信。業界のイメージ向上や就業者確保などにつなげることで、建設業界の持続的発展に寄与することを目的としている

## 国境を越えた体制で人材確保と帰国後のキャリアを構築

—そのほかに、現場の技能者不足に対してどのような取り組みをしていますか。

弊社では、教育と帰国した時の出口、環境整備の3つを軸に外国人材が長く活躍できるように独自の仕組みを構築しています。

まず教育面では、2023年にベトナムで循環式プラスト技能者育成学校を設立しました。以前は来日後に仕事を覚えていたため、どうしても雑用が中心になり、塗装の面白さを実感できないまま帰国するケースがありました。そこで、現地で事前にプラスト技術や使用する機械の組み立て、朝礼時に記入する書類の書き方まで習得できる体制を整えました。その結果、日本人の職人よりも上手に作業する実習生も現れ、高いモチベーションを持って現場に臨んでいることがわかります。もちろん、給与面も日本人と同等の報酬を支払う体制を明確に伝えています。

次に、彼らが日本で取得した技能を一生の財産にできるよう、2025年にベトナム現地法人を設立しました。ベトナムの橋梁はコンクリート製が主流のため、日本で学んだ塗装技術を活かす場が少ないという課題がありました。そこで、プラスト技



術のもとである造船分野に着目し、現地の国営造船会社と連携。ベトナム法人の社員が造船業務を請け負える仕組みを作りました。これにより、帰国後も学んだ技能を活かせる出口を確保することができました。

さらに、日本法人とベトナム法人の間での企業内転勤を可能にすることで、就業環境の改善も図っています。従来は一度帰国すると再来日が難しく、家族と長期間会えない状況が続いていました。いつでも自由に帰国・再来日できる仕組みを整えることで、安心して働ける環境につながります。

外国人材に頼らざるを得ない今だからこそ、自社都合ではなく、送り出す側と受け入れる側の双方が幸せになれる仕組み化が必要です。この仕組みが建設業界をはじめ、他の業界にも広がればよりよい循環が生まれると考えています。

来日前に実際の橋梁と同様の模型や循環式プラスト機材、塗装の吹き付け機材を使用し、現場と同じ状況下で研修を行う。講習は日本での技能実習を終えて帰国したベトナム人が担当している



—今後に向けての意気込みを教えてください。

これからの未来を担う若い世代のために、職人の社会的地位の向上に一層注力したいと考えています。私自身、一人の職人として現場で育ちました。経営者になった今、「現場あつての私たちだ」という父の教えをより一層実感しています。だからこそ、現場で働く人たちがもっと正当に評価される世の中になりたいという強い思いがあります。

地位の向上とは、単なるイメージアップではありません。高い技術に見合った報酬を得て、経済的にも精神的にもより良い生活を送れる環境を整えることです。しっかりと稼げる職業として確立することで、若い人たちが憧れと誇りを持って入職できる業界にしていきたい。そのために、経営者としてできるすべてのことに取り組んでいきたいです。

## ■法人プロフィール

### ヤマダイインフラテクノス株式会社



橋梁など鋼構造物のほか、インフラ構造物全般に関する補修・補強を手掛ける。また、建設業の若手職人に焦点を当てた番組「ウシワカ・プロジェクト」の制作や、ベトナムに技術学校、現地法人設立など、建設業全体の底上げを図る取り組みに挑戦している。

本 拠 地	〒476-0002 愛知県東海市名和町二番割中5番地-1
T E L	052-604-1017
F A X	052-604-6732
代 表 者	山田 博文
創 業・設 立	昭和28年1月
資 本 金	2,000万円
事 業 内 容	鋼構造物塗装、各種プラスト工事、鋼構造物へのショットピーニング、各種橋梁補修工事、他
U R L	<a href="https://eco-yamadapeint.co.jp/">https://eco-yamadapeint.co.jp/</a>

## ■法人沿革

昭和28年	山田ベンキ創業
昭和35年	東海市上野に本社移転。旧東海製鐵の建設工事に関わる塗装工事に参入
昭和41年	会社法人山田塗装株式会社を設立
昭和44年	東海市名和町石塚に社屋完成
昭和50年	原子力発電所建設に伴う塗装工事に参入
昭和60年	原子力発電所定期検査に伴う塗装に参入
平成9年	山田博文が社長に就任 循環式プラストの原型であるリサイクルプラスト装置の考案・開発
平成17年	鋼道路橋塗装・防食便覧の改訂によるRc-I塗装系の追加。橋梁分野に本格参入。循環式エコクリーンプラスト工法開発
平成18年	循環式エコクリーンプラスト工法が初めて道路橋に適用
平成22年	循環式エコクリーンプラスト工法が国土交通省新技術合法提供システム「NETIS」に登録
平成27年	ヤマダイインフラテクノス株式会社に社名変更。循環式エコクリーンプラスト工法がNEXCO新技術データベースに登録
平成28年	一般社団法人 日本鋼構造物循環式プラスト技術協会を設立
平成30年	現在の社屋が完成 循環式エコクリーンプラスト工法が東京都新技術データベース「NeTIDa」に登録。
令和3年	同工法が、リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰において「内閣総理大臣賞」を受賞
令和4年	循環式エコクリーンプラスト工法が「循環式プラスト工法」として建設技術審査証明を取得
令和5年	循環式プラスト工法によるCO2排出削減効果をISO14067に基づくカーボンフットプリントとして算出し、検証を取得



左から山田社長、東海支店・東海北支店 福尾支店長、東海支店 和田営業担当

# 知ればもっと面白い! 注目のパラスポーツ

4月から車いすラグビーを題材としたテレビドラマが放映され、いま注目を集めているパラスポーツ。障がいの有無や性別を問わず、子どもからシニアまで誰もが楽しめるスポーツとして広がりを見せています。今回は西三河エリアに関するパラスポーツ情報を交えながら、その魅力に迫ります。

## パラスポーツとは?

一般のスポーツのルールを一部変更したり、用具を用いて工夫したりすることで、楽しく安全にスポーツを行えるようにしているほか、ボッチャのようにもともと障がいのある人のために考案された競技も含まれます。近年では、誰もが対等に楽しめるスポーツとして、その意義が改めて注目されています。

## 代表的な種目をピックアップ

### ① ボッチャ

ヨーロッパ生まれのパラリンピック正式種目で、重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツです。

ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに赤・青それぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。投げることができなければ、ランプ(勾配具)を使い、自分の意思をランプオペレーターに伝えることができれば参加も可能です。すべての球を投げ終えた時点でジャックボールに自ボールを最も近づけたチームが勝ちです。



写真提供:安城市スポーツ課



写真提供:日本ゴールボール協会 © 2026 Japan Goalball Association

### ② ゴールボール

視覚に障がいのある人を対象に考えられた球技。1チーム3人の選手が、鈴の入ったボールを転がすように投げ合い、味方ゴールを守りながら相手ゴールにボールを入れて得点を競います。選手全員が視野や視力といった障がいの程度の差が出ないようにアイシェードをつけるのが特徴。鈴の音や相手選手の靴の擦れる音を聞き取りながらプレーします。守備側の選手がボールに触れてから10秒以内に相手コートに返球しなければならないため、息詰まる攻防が続きます。静かな環境の中で試合が行われることから、「静寂の中の格闘技」とも言われています。

## 過去に地元・西三河でも開催!パラスポーツはすぐそばに

パラスポーツは誰もが楽しめる身近なスポーツ。実は西三河でも、こうした体験の場がすでに広がっています。

### ボッチャ大会 (刈谷市・安城市)



写真は2025年6月に東祥アリーナ安城(安城市体育館)で開催された際の様子です。刈谷市では2026年2月に刈谷市体育館にて開催されました。最新のイベント情報は、各市のホームページをご確認ください。

### 車いすラグビー (刈谷市)



写真は、2025年10月に刈谷市総合文化センターで開催された「福祉・健康フェスティバル」の様子です。車いすラグビー日本代表の若山英史選手を迎え、競技用車いすの試乗体験が行われました。

## 地域から世界へ。西三河にゆかりのある選手を紹介

国内外の舞台で、西三河ゆかりの選手たちが活躍しています。各競技で成果を挙げている選手たちをご紹介します。

### パラ陸上競技

パラリンピックでは2016年リオ大会と2021年東京大会で7位、2024年パリ大会で9位。世界パラ陸上選手権でも2023年パリ大会と2024年神戸大会で7位に入賞。さらに、アジアパラ競技大会2023年杭州大会では優勝を果たすなど、パラ陸上競技「女子1500m」で活躍しています。

### 『パラ3大会連続出場のランナー』 山本 萌恵子選手(岡崎市出身)



写真提供:日本パラ陸上競技連盟

### ゴールボール

筑波大学附属視覚特別支援学校の卒業生を中心に結成された「チーム附属」に所属し、守備の要となるセンターとしてチームを支えています。日本代表の強化指定選手にも選ばれており、パラリンピック2028年ロサンゼルス大会への出場が期待されています。

### 『日本代表強化指定選手として注目』 神谷 歩未選手(安城市出身)



写真提供:日本ゴールボール協会

### ボッチャ

2025年の大阪カップに続き、2026年の風神雷神ボッチャリーグでも優勝。これまでのキャリアでも、2016年のカナダ・モントリオール大会団体戦で2位、2015・2016年の日本選手権、2022年のジャパンパラリンピックで3位など、数々の実績を残しています。

### 『数多くの地域・国際大会で活躍』 梅村 祐紀選手(安城市出身)



写真提供:Boccia Team Brex

写真提供:あいちボッチャ協会

What are parasports?

## Q1 車いすラグビーはどんな競技?

—まず、車いすラグビーとはどんな競技なのか教えてください。

**若山選手** 1チーム4人でプレーする競技で、最大の特徴は「ラグ車」と呼ばれる専用車いす同士が真っ向から激突する激しさにあります。かつては「マダーボール(殺人球技)」と呼ばれていたほど、その衝撃音は圧巻です。

ルールはシンプルで、ラグビーのようにトライで得点しますが、ボールは丸い形をしており、前方へのパスが認められています。また、ボールを持っていない選手へのタックルも許されているので、どちらかというアメリカンフットボールに近いスポーツかもしれません。

—チーム編成における「持ち点制度」という独特なルールについても教えてください。

**若山選手** 選手には障がいの程度に応じて0.5点から3.5点までの「持ち点」が付けられており、コート上の4人の合計を8.0点以内に収めなければなりません。ただし、男女混合競技である車いすラグビーは、女性選手が加わる際に合計点の制限が緩和されるルールがあります。女性選手の活躍も増えており、多様な選手が協力して戦う姿にぜひ注目してほしいですね。

## Q2 車いすラグビーの見どころは?

—観客の方に注目してほしいポイントはどこですか。

**若山選手** やはり一番は、車いす同士がぶつかり合うタックルですね。会場に響きわたる衝撃音は圧巻で、これぞラグビーと感じてもらえるはず。

また、戦術的な守備にも注目してほしいですね。例えば、障がいの重いローポインターは、ボールを持つ機会が多いハイポインターに比べると、試合で目立つことは少ないかもしれません。しかし、ハイポインターが走り抜けるためのスペースを作ったり、味方をフリーにするために相手をタックルしたりと、その役割は極めて重要。ぜひ会場でコート全体を見渡しなが、緻密な連携でボールを運ぶプロセスや、その熱い駆け引きを楽しんでほしいです。

—ディフェンスが得意だと伺いましたが、タックルすることに恐怖心はありませんか。

**若山選手** 怖くはないですが、スピードに乗ったハイポインターにタックルしに行く瞬間は、正直ちょっと嫌だなと感じることもありますね(笑)。ですが、自分より障がいの軽い選手を完璧に追い詰めて、相手が悔しがっている顔を見た時はめっちゃくちゃ気持ちがいいんです。その快感を知っているからこそ、意を決してタックルしに行けます。

—試合会場はどのような雰囲気なのでしょうか。

**若山選手** 大きな大会になると、プレーの合間にDJが音楽で盛り上げたり、華やかなハーフタイムショーがあったりと、エンターテインメント性が高く、誰でも楽しんでいただけたらと思います。私自身も時々解説に参加してわかりやすくお伝えしているので、知識ゼロでも一緒に盛り上がれますよ。また、会場には実際に競技用車いすに乗ってタックルの衝撃を体験できるコーナーが設けられることもあります。4月からは車いすラグビーを題材にしたテレビドラマの放映も始まります。ぜひ試合に足を運んで、車いすラグビーの迫力と面白さを生で味わってみてください。



# 金メダリスト若山選手にインタビュー 車いすラグビーの魅力に迫る

(C) Megumi Masuda/JWRF

テレビドラマの放映をきっかけに、今熱い視線を集めている競技・車いすラグビー。西三河エリアでもイベントが開催されるなど身近になりつつありますが、「応援してみたいけれど、ルールや見どころがまだよく分からない」と思う方も多いのでは。そこで今回は、金メダリストの若山選手に初めての観戦がもっと熱くなる見どころをたっぷりとお話いただきました。



### 若山 英史選手

1985年生まれ。東京都出身。大学時代にプールの飛び込み事故により頸椎を損傷し、リハビリ中に車いすラグビーと出会う。2016年リオパラリンピック銅メダル、2021年東京パラリンピック銅メダル、2024年パリパラリンピックで金メダルを獲得。選手として活動するほか、車いすラグビーやパラスポーツの普及活動、講演会などにも取り組んでいる。

### attack



(C) JWRF

攻撃型の競技用車いすで、障がいの軽いハイポインターが使用。細かいターンや動きができるようにコンパクトな作りです。



(C) Megumi Masuda/JWRF

### defense



(C) JWRF

守備型の競技用車いすで、障がいの重いローポインターが使用。相手の動きを止めるために突き出したバンパーが特徴です。



(C) Megumi Masuda/JWRF

## Wheelchair Rugby player Wakayama Hidefumi

# お役立ちコラム

知っておきたい税情報

## 「事業所得」と「雑所得」の区分



最近、従業員の副業を認める会社が増えてきています。そこで直面するのが、副業による収入は「事業所得」と「雑所得」のどちらに該当するかという問題です。

今回は「事業所得」と「雑所得」の判断の基準や、その取り扱いの違いを解説します。

山本康裕税理士事務所 税理士 山本康裕

### 1 「事業所得」と「雑所得」の判断基準

副業が「事業所得」と「雑所得」のどちらに該当するかは、その所得を得るための活動が事業的規模であるかどうかで区分します。そして、当該活動が事業的規模であるかどうかは、その仕事に**営利性・継続性・反復性**があり、かつ、**独立して自己の責任**で営まれているかどうか等を総合勘案して判定します。

しかし、上記の基準は、非常に抽象的であり、また、副業にも様々なものがあることから、その判断ができない場合が多々あります。そのため、国税庁から「記帳・帳簿書類の保存の有無」を基準とする次のような指針(通達)が示されています。

#### 記帳・帳簿書類の保存がある場合

原則として、「**事業所得**」に区分されます。(ただし、収入が僅少と認められる場合やその所得を得るための活動に営利性が認められない場合を除く。)

#### 記帳・帳簿書類の保存がない場合

原則として、「**雑所得**」に区分されます。



つまり、帳簿をきちんとつけ、保存してあれば、多くの場合、「事業所得」として取り扱われ、逆に帳簿をつけていない場合は「雑所得」として取り扱われるということです。

ただし、帳簿をつけている場合であっても、副業の収入が僅少である場合(例年300万円以下で主たる収入に対する割合が10%未満の場合をいいます。)や、その所得を得るための活動に営利性が認められない場合(赤字続きで黒字化の取り組みを行っていない場合をいいます。)、は、「事業所得」に該当するかどうかは、別途、個別に判断することになります。

### 2 「事業所得」と「雑所得」の税務上の取り扱いの違い

副業が「事業所得」に該当すると、青色申告制度を利用することにより、次のような税制上の特典を受けることができます。(「雑所得」には、このような特典はありません。)

項目	事業所得	雑所得
青色申告特別控除	最大65万円の控除が可能	なし
損益通算	赤字の場合、他の所得と相殺が可能(白色も可)	不可
純損失の繰り越し	3年間の繰越が可能	不可
少額減価償却資産	30万円(令和8年4月以降は40万円)未満の資産を一括して経費計上することが可能	不可



したがって、副業を「事業所得」として青色申告を行う場合は、青色申告の承認申請を行うことはもちろんですが、日ごろからきちんと帳簿をつけ保存することが極めて大切です。

# お役立ちコラム

働く人のメンタルヘルス

## 春に気をつけたい コミュニケーションと メンタルケア



### 1 年度はじめの意味

「春は出会いの季節」と言われます。気温も上がって過ごしやすくなり、「さあ、やるぞ!」というポジティブな気持ちになる人もいます。一方この時期は人間関係のリセットの時期でもあり、また1から人間関係をつくる大変さを感じる人もいます。

「感じ方は人それぞれ」という考え方が基本ですが、例えば異動してきた人を迎える側になった場合、「ようこそ!」という態度を示すことはその人の環境変化への適応をよりスムーズにします。

### 2 ストレスが重なっている人も!?

環境変化はストレス増加にもつながります。この時期に重なりやすいイベントは表の通りです。1年の間に自分自身が経験したイベントのストレス度を足し算した時、その数値が高いほど、その後に体調を崩しやすくなります。また「即戦力にならなきゃ」と気負い、空回りして疲れてしまう人もいます。

異動や就職など、環境の変化が重なっている人には、意識的に声を掛けて不調を予防したいところです。

### 3 「リアリティショック」への対応

特に新入社員や異動した人は、職場で働く前の印象と、その後の印象のギャップから「思っていたのと違う…」とダメージを受けることがあります(リアリティショック)。この環境をどのように感じているのかはその人の話を直接聴くことが大切ですが、その環境に長くいたベテランほど気づきにくい傾向があります。

仕事の内容のギャップ、職場の雰囲気、労働条件などの不一致、企業風土の違いなど、さまざまな理由がありますが、もし誤解があるなら直接話し合っ解消することが大切です。またこの話し合いは受け入れ側としては普段では気づかない「外からの視点」を得られる良い機会なのでしっかり活用したいところです。

### 4 歓迎会について考える

コロナ禍以降「飲みにケーション」自体が変わりましたが、飲み会自体が嫌いというよりは「行きたくない空気の飲み会がある」感が強いように思います。飲酒でタガが外れ、普段言わない/やらないことが出てくることもある飲み会は要注意です。

### 5 終わりに~5月病に備える

4月の環境変化を何とか乗り越えるとゴールデンウィークが来ます。休みがある人は出掛けたり、のんびり過ごせたりすると良いですね。ただ、連休に“全力投球”すると休み明けに体が言うことをきかなくなる(5月病)こともあります。せめて連休最終日はのんびり過ごすことを意識してみてください。

春に起きやすいイベント	ストレス度
夫婦の別居	67
会社を変わる	64
多忙による心身の疲労	62
仕事上のミス	61
転職	61
単身赴任	60
収入の減少	58
人事異動	58
労働条件の大きな変化	55
配置転換	54
抜擢に伴う配置転換	51
子どもが家を離れる	50
睡眠習慣の変化	47
引っ越し	47
同僚が減る	42
昇進・昇格	40
夫・妻の退職	40
食生活の変化	37

ストレス度合計(1年以内)	翌年健康被害が起きるリスク
150点未満	約30%
150~299点	約50%
300点以上	約80%

#### 【参加しても良いと感じる飲み会の要素】

- ① 気配り・プレッシャーが少ない
- ② 費用負担が少ない(割り勘の不公平感がない)
- ③ 長時間にならず、離席しやすい会場
- ④ 説教・ハラスメントがない(踏み込みすぎない)

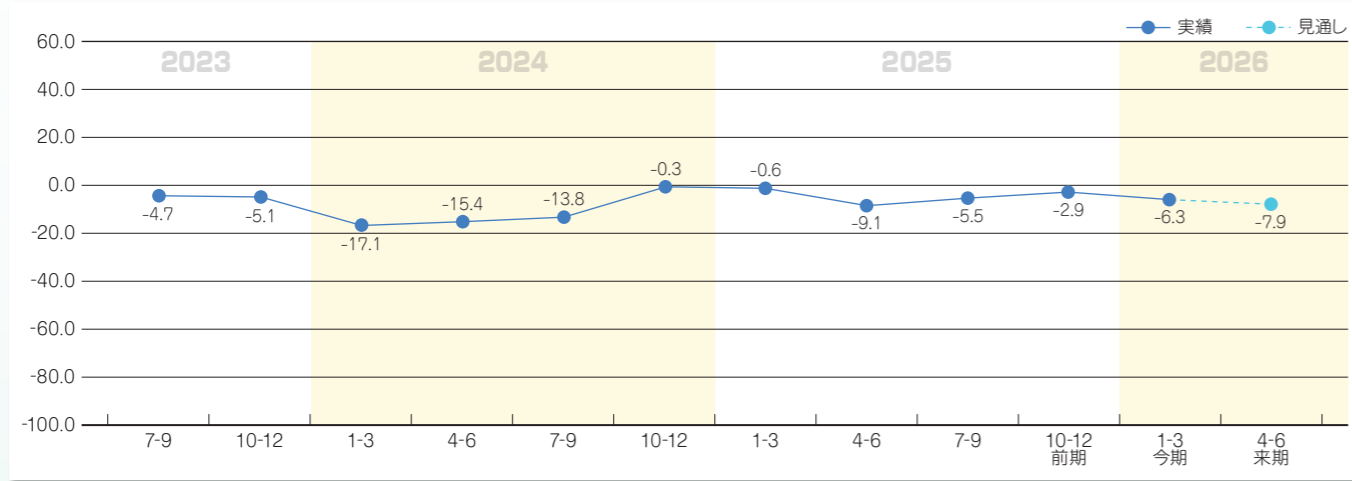
臨床心理士・公認心理師 寺本 亮

全業種

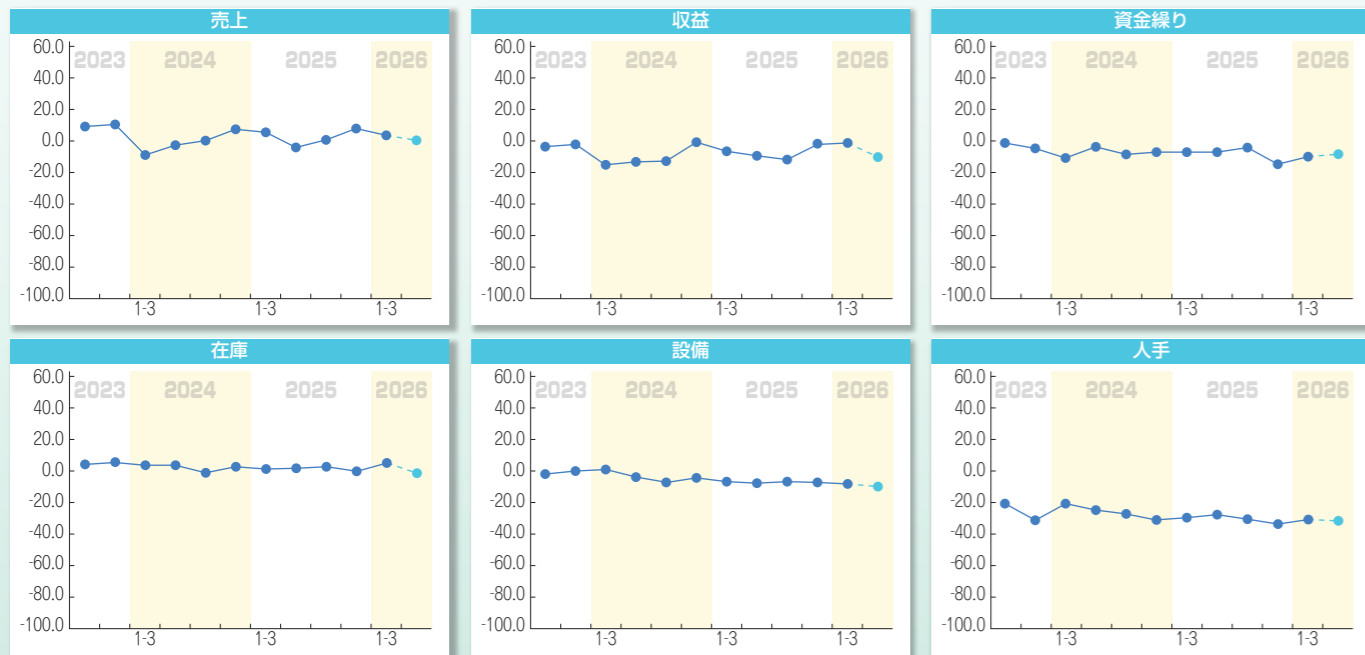
回答数318社

今期の業況D-Iは、前期比3.4ポイント低下の▲6.3と、3期ぶりに悪化。業種別では、製造業、卸売業は悪化した。その他の業種は改善した。来期の予想業況D-Iは、1.6ポイント低下の▲7.9と悪化の見通し。業種別では、製造業、卸売業は悪化を見込むが、その他の業種は改善の見込み。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

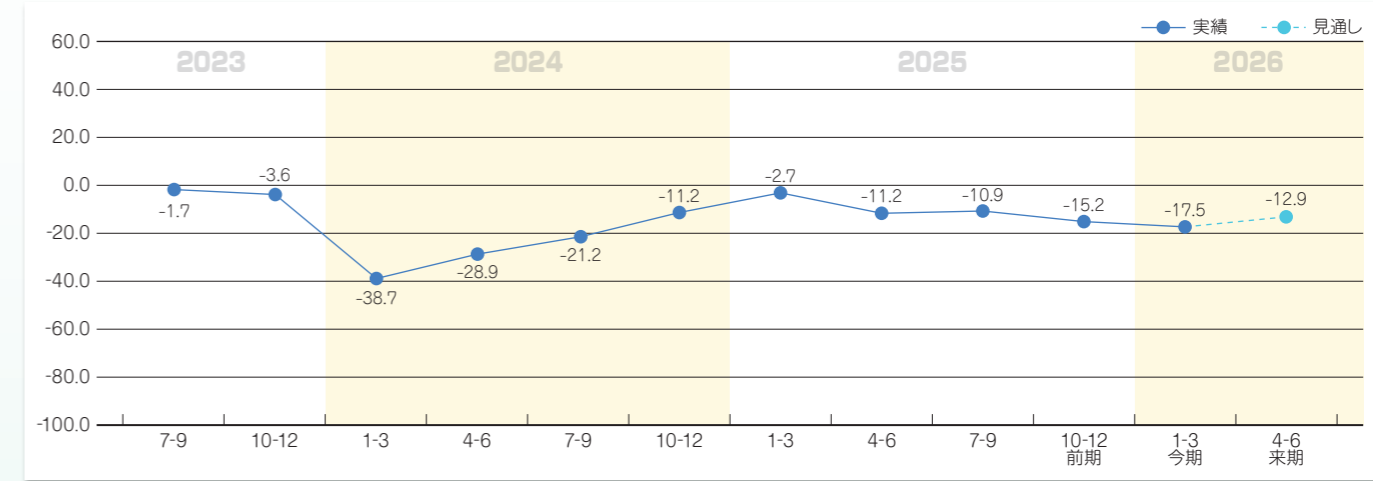


製造業

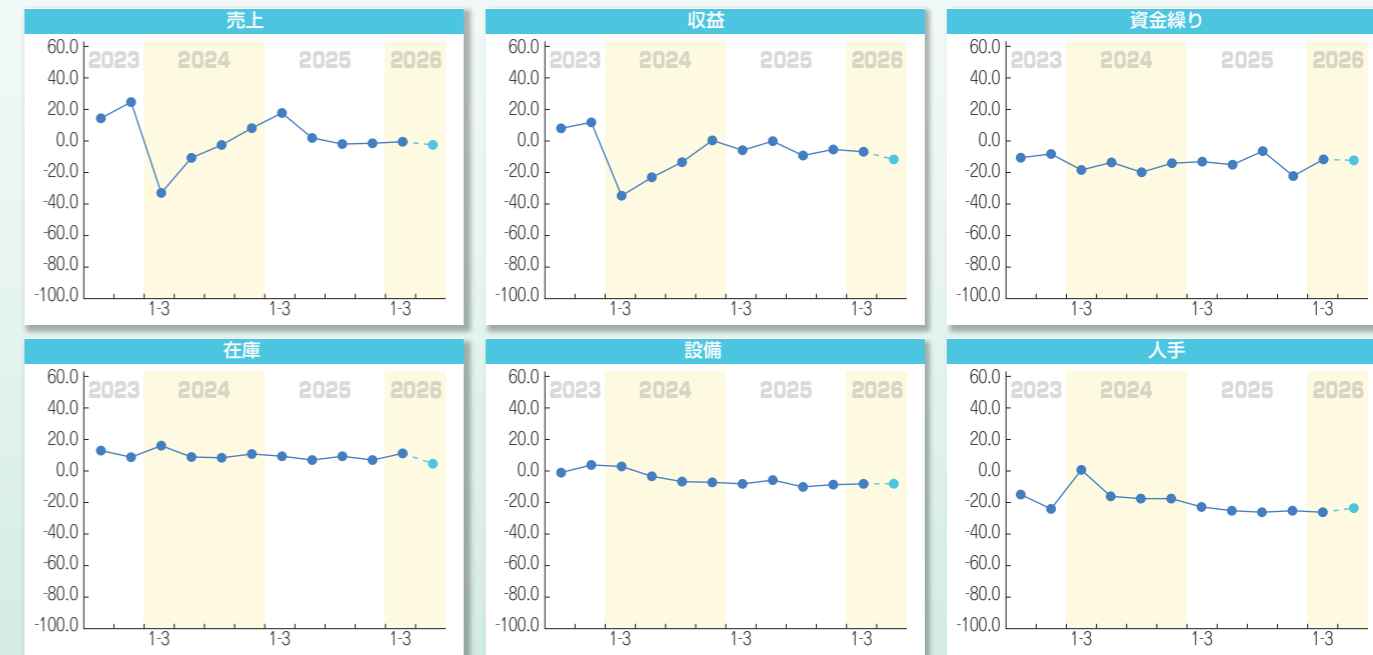
回答数115社

今期の業況D-Iは、前期比2.3ポイント低下の▲17.5と、2期連続で悪化した。売上D-Iがわずかに上昇した一方で、収益D-Iはわずかに低下。仕入価格高騰や人件費増加等により収益が悪化しているとの声が多く聞かれた。来期の予想業況D-Iは、4.6ポイント上昇の▲12.9と改善の見通し。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



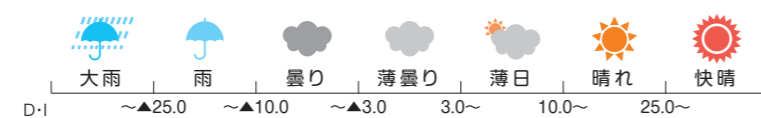
へきしん取引先景況調査とは

本調査は、地域および業種の景気実態および景気予測(景況)を把握するため、四半期ごとに当金庫の取引先企業様にアンケート調査を実施し、回答をいただいたものです。

調査概要

実施時期 2026年3月2日～6日  
 対象企業 318社  
 対象地域 西三河および尾張南部を中心とした当金庫の営業エリア

天気図の見方



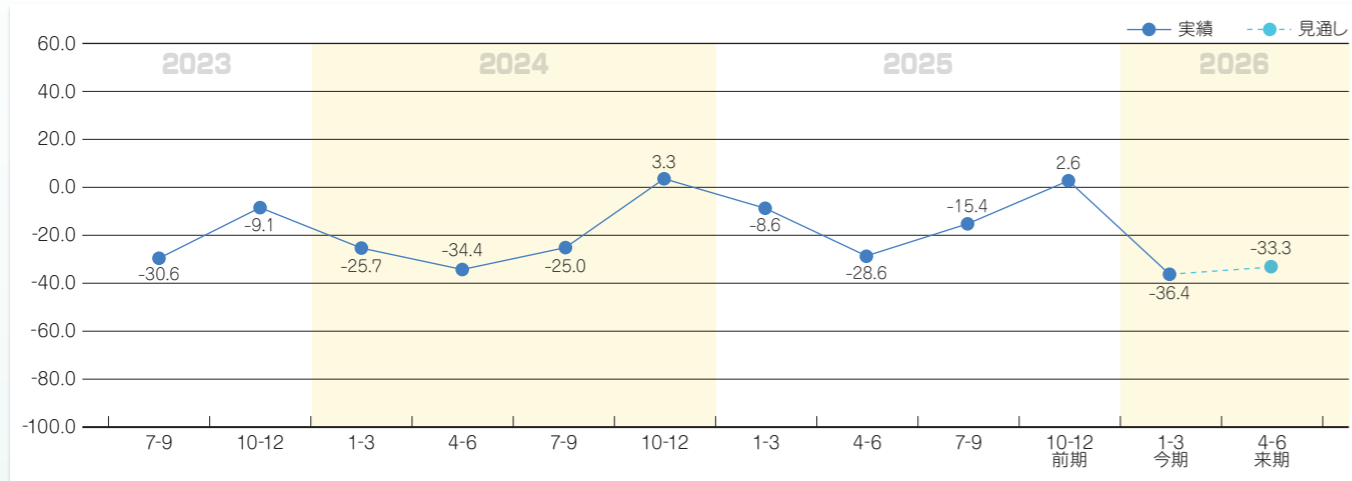
- 製造ラインの見直しを図り、生産性が向上。原材料価格高騰に伴い、さらなる価格転嫁交渉が必要。(アルミダイカスト製造)
- 売上は増加しているが経費増加が続いており収益確保に苦慮。新工場移転計画が進んでおり、今後の設備投資を検討しながら資金繰りを安定させたい。(プラスチック製品製造)
- 人手不足により受注を増加できない。人材確保をまずはクリアできるように取り組んでいく。(自動車部品製造)

D-I(デフュージョン・インデックス)とは…業況(業界の景気)等を判断するための指数であり、〈良いまたはやや良いと答えた割合〉-〈悪いまたはやや悪いと答えた割合〉で求められます。

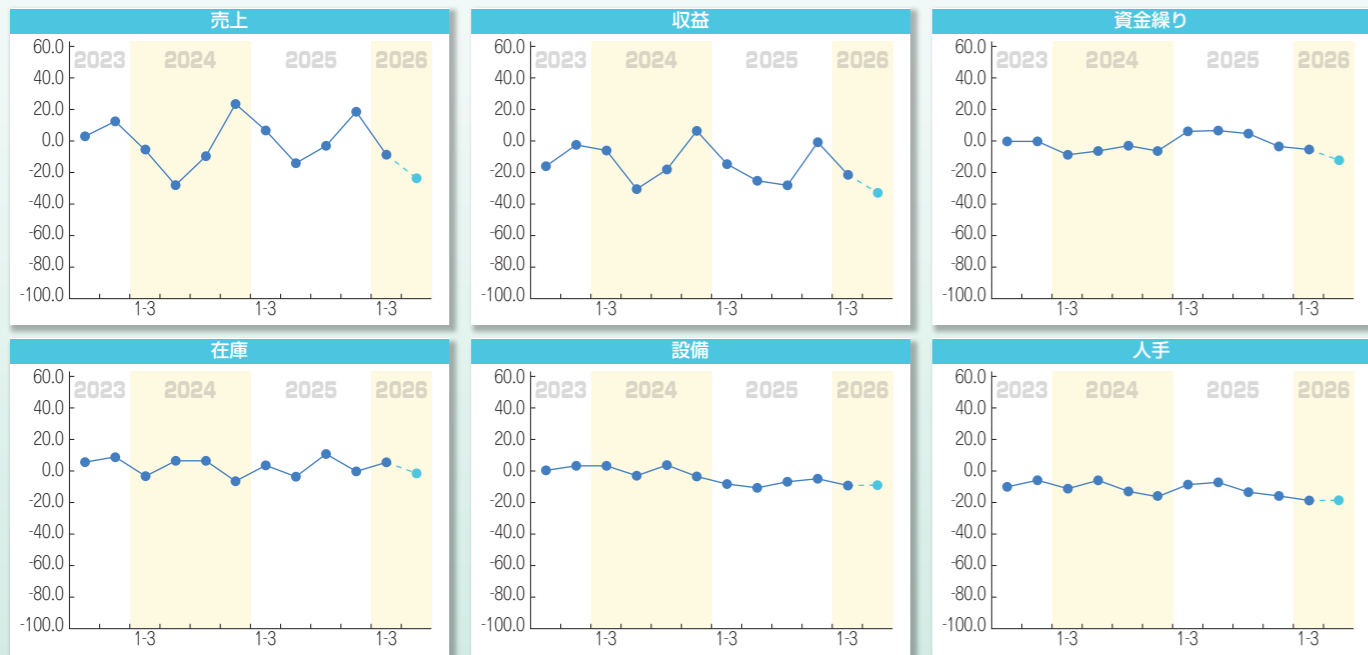
**卸売業** 回答数33社

今期の業況D-Iは、前期比39.0ポイント低下の▲36.4と、3期ぶりに大幅に悪化した。売上D-I、収益D-Iともに大幅に悪化。物価高や人件費増加等の影響を受けているとの声が多い。来期の予想業況D-Iは、3.1ポイント上昇の▲33.3と、わずかに改善の見通し。海外情勢も懸念され、先行きの不透明感は強い。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

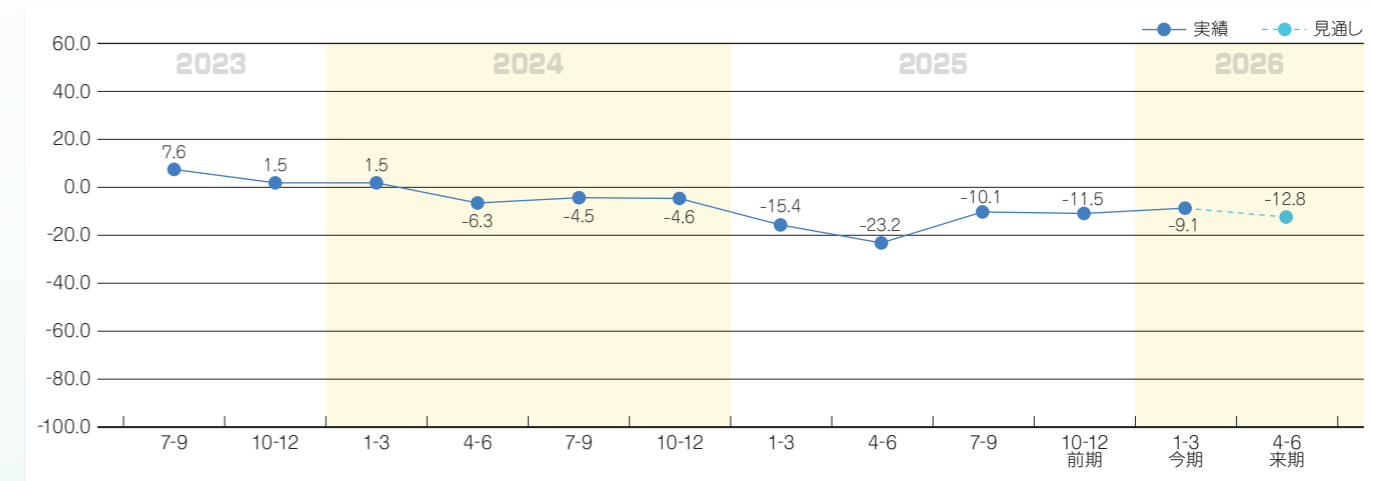


- 諸外国の情勢で、油の仕入値上昇が予想され、価格転嫁等の対応が必要となる。人件費等、販管費の見直しにて収益確保を図る。(石油卸売)
- 鉄鋼業界全体が不景気。利益率改善を図るため、内装化できるよう動いている。(鋼材卸売)
- 建築費高騰による計画中止などが増えており、需要が減少している。(生コンクリート・セメント卸売)

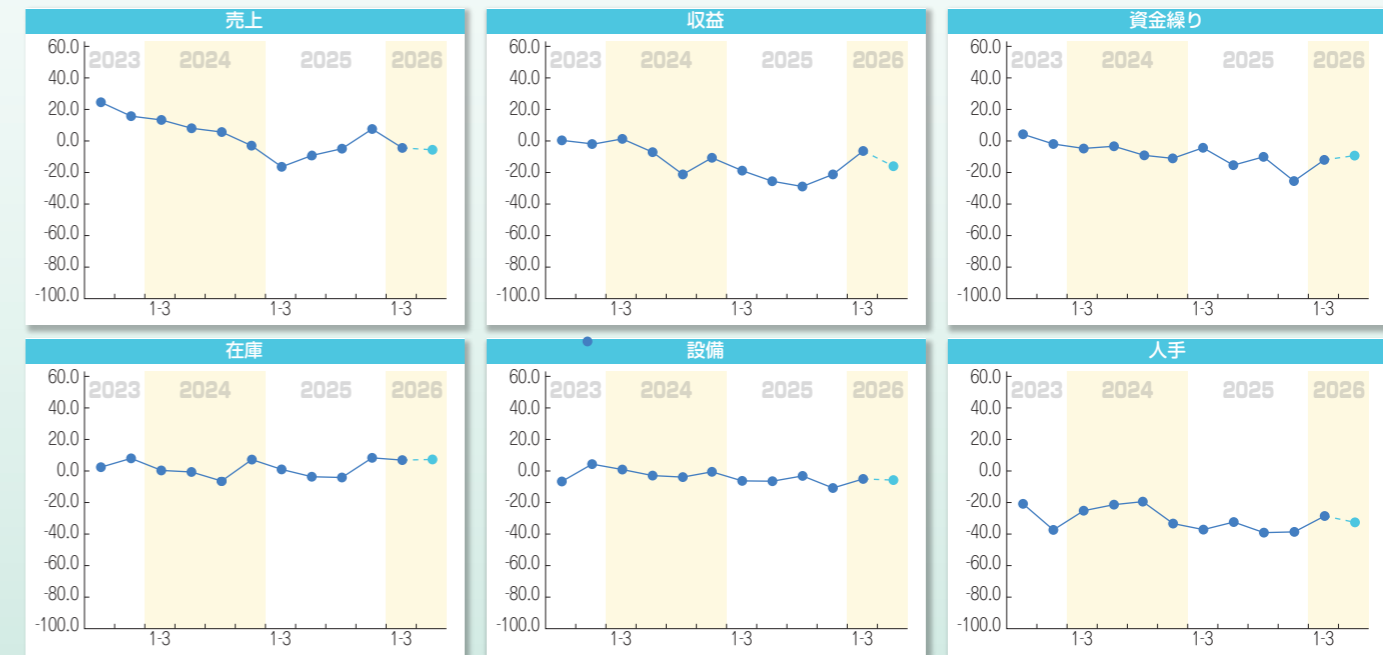
**小売業** 回答数55社

今期の業況D-Iは、前期比2.4ポイント上昇の▲9.1と、わずかに改善。仕入価格の上昇は続いているが、価格転嫁や大量仕入れによるコスト削減等に取り組んでいるとの声も聞かれ、収益D-Iは改善した。資金繰りD-I、人手D-Iも改善。来期の予想業況D-Iは、3.7ポイント低下の▲12.8と、悪化の見通し。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D-Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

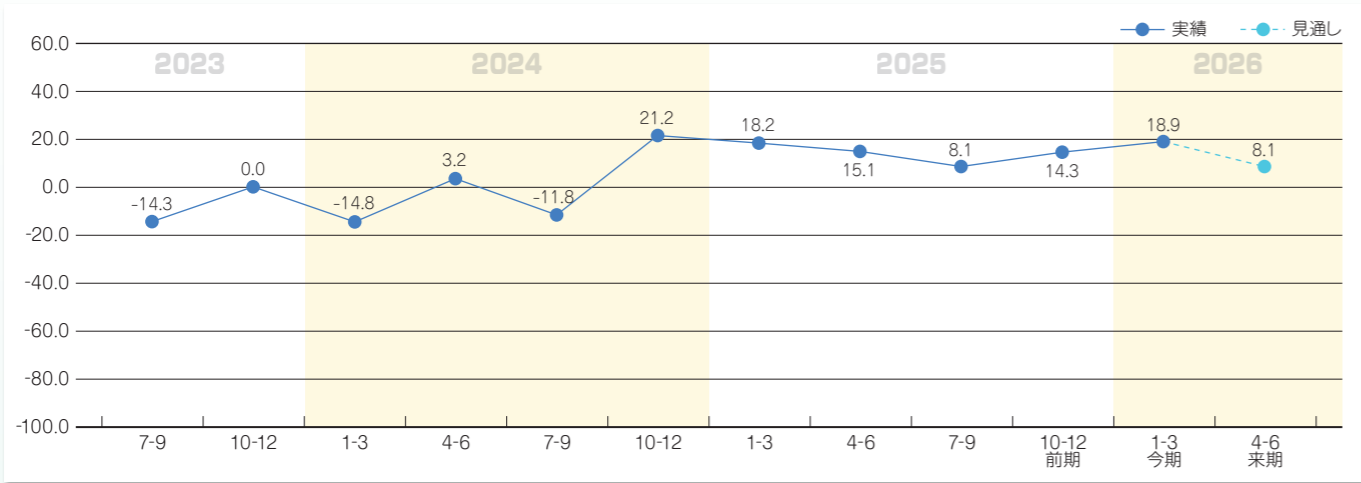
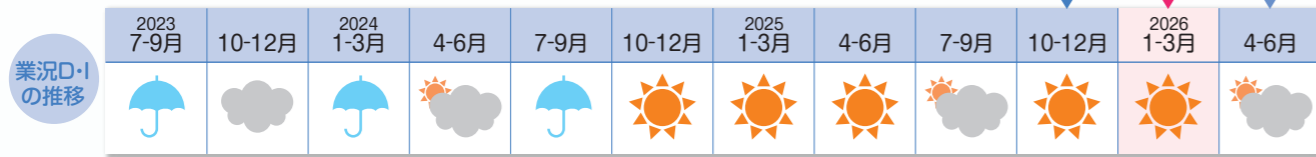


- アルバイトを雇い、人手不足を解消。(飲食店)
- 米の仕入価格は上昇しているが、価格転嫁を少しずつ行っており収益を確保できている。引き続き価格の見直しをしていく。(食品等小売)
- 円安を背景にした海外ディーラーの攻勢もあり、相場は高止まり状態。デジタル戦略や仕入先の見直し等、収益向上に向けて改善施策を実施中。(中古車販売)

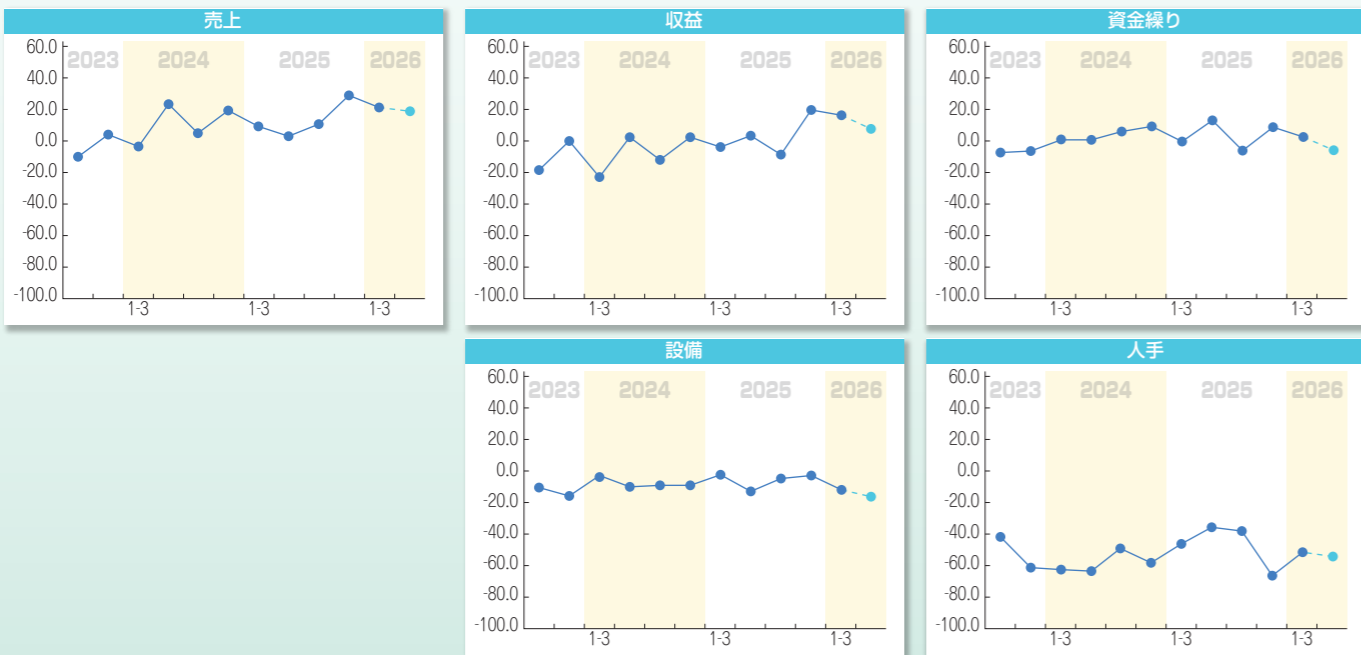
**サービス業** 回答数37社

今期の業況D・Iは、前期比4.6ポイント上昇の18.9と、2期連続で改善。売上D・I、収益D・Iは、ともに悪化したもののプラス水準を維持。人手D・Iは▲51.3と依然として人手不足感が強いが、人材育成に力を入れているとの声もあり、前期より改善した。来期の予想業況D・Iは10.8ポイント低下の8.1と、悪化の見通し。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D・Iの推移 (注)設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。

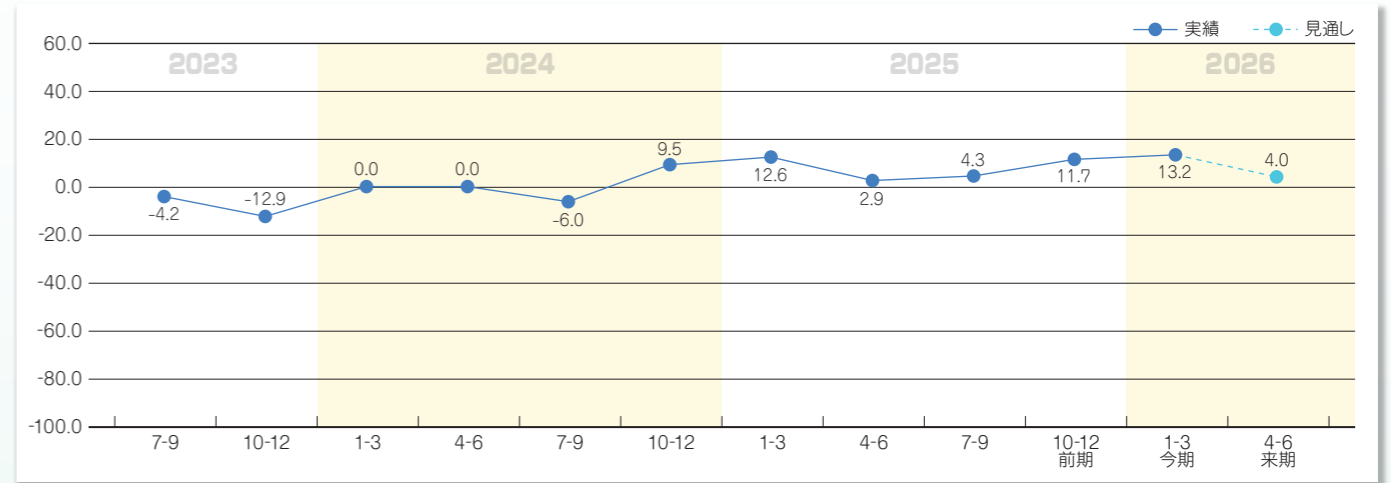
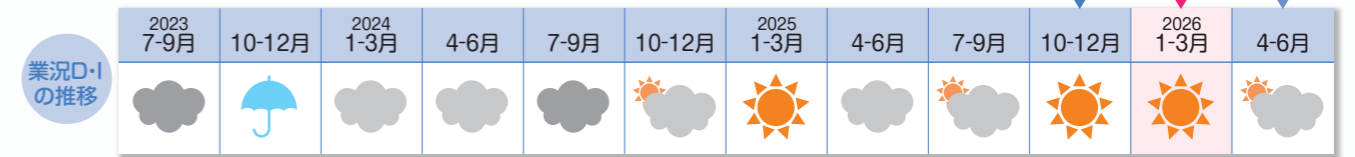


- 取引先数が減少しており、新たな取引先の獲得が課題。SNS活用や民間金融機関からの紹介等で販路拡大を目指す。(税理士法人)
- 材料価格が高騰しており、収益が圧迫されている。経費削減が必要。(理美容業)
- 定款変更による従業員残業代改善を図った。(福祉サービス)

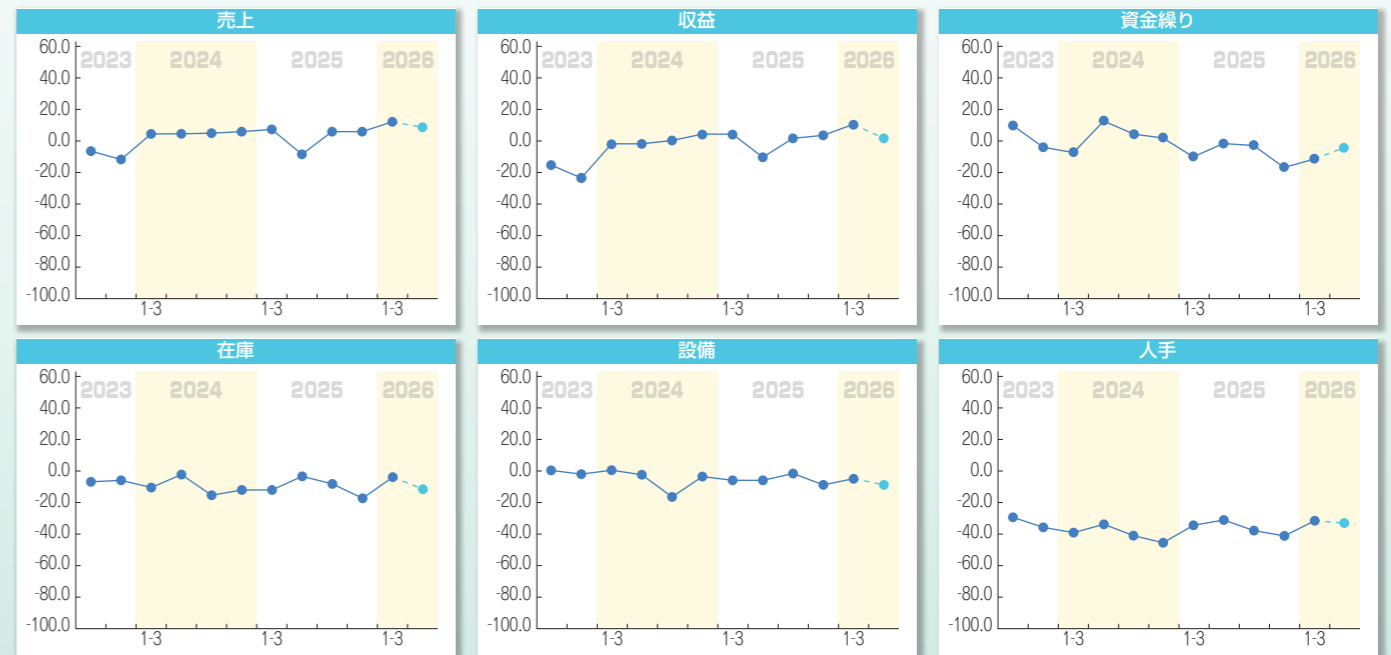
**建設・不動産業** 回答数76社

今期の業況D・Iは、前期比1.5ポイント上昇の13.2と、3期連続で改善した。売上D・I、収益D・Iともにプラス圏での推移が続いている。人手D・Iは改善したが、建設業では人材が不足しているとの声が多い。来期の予想業況D・Iは、9.2ポイント低下の4.0と悪化の見通し。

前期実績 今期実績 来期見通し



主要D・Iの推移 (注)在庫/設備/人手はプラスになるほど過剰、マイナスになるほど不足。



- 新しい機械の導入により作業を効率よくできるようになり、生産性が向上する見込み。(土木工事)
- 物価上昇に懸念あり。引き続き価格見直しを行っていく。(建築業)
- 決算月に売上が増加し、期初に低迷する傾向があるため、平準化することが課題。(戸建分譲)
- 売上は増加見込みだが、利益率は大幅に悪化。金利情勢も逆風であり、今後も苦戦が予想される。(建売住宅・マンション販売)

碧海信用金庫は、地域金融機関としてSDGsの取り組みを通じて持続可能な地域社会の実現に貢献します。

へきしんスタートアップ投資事業有限責任組合  
(へきしんAOMIファンド)を設立

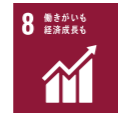
スタートアップ支援を通じた地域経済の持続的な発展やイノベーションの創出のため、信金キャピタル株式会社と共同でファンドを設立しました。ファンド名は、青い海、大海を意味する言葉「あおみ(碧海)」から新しい領域(ブルーオーシャン)へ挑戦するスタートアップをイメージし「AOMI」と命名しました。



へきしんAOMIファンド設立発表会(1月15日)

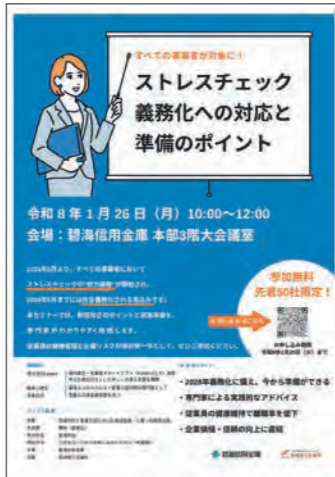
あいちアール・ブリュット×アティックアート  
連携事業に協力

愛知県障害者芸術活動参加促進事業に協力し、障がいのある方が描いた作品をデザインに採用したボックスティッシュとウェットティッシュを制作しました。2月10日から3月5日の期間は、ノベルティグッズや原画を展示する「まちなかギャラリー」をローンプラザ安城、ローンプラザ豊田、御園支店にて開催しました。



中小企業におけるストレスチェック制度への  
対応に関するセミナーを開催

令和9年度からストレスチェック制度がすべての事業者を対象に義務化されるにあたって、1月26日に安城商工会議所と共催でセミナーを開催しました。従業員の健康管理と企業リスク対策の第一歩として、幅広い業種の経営者・人事・総務担当者の方々にご参加いただきました。



取適法(中小受託取引適正化法)セミナーを開催

2月20日に安城商工会議所と共催で、中小企業向け取適法(中小受託取引適正化法)セミナーを開催しました。担当所管の公正取引委員会から制度改正のポイントについて聞ける機会として、幅広い業種のお客さまが参加されました。



安城市と共催で地域課題解決やSDGsの普及啓発を図るイベントを開催



あんじょうSDGs共創パートナー制度  
パートナー交流会(2月27日)

SDGsフェスタinあんじょう  
(2月1日)



安城市と当金庫は令和3年に「あんじょうSDGs共創パートナー制度」を設立し、地域課題の解決やSDGsの普及啓発に取り組んでいます。本制度の活動の一環として、2月1日にはアンフォーレで「SDGsフェスタinあんじょう」を開催し、SDGsについて楽しく学べるゲームを集めたゲームセンター、地元の企業・団体によるSDGsを身近に感じられるブース出展やフリーマーケット等に多くの方々が登場されました。

また、2月27日には事業者さま向けに「あんじょうSDGs共創パートナー制度パートナー交流会」を開催し、地域課題解決をテーマにしたセミナーと参加者同士の交流会を実施しました。

へきしんSLL

成約記念盾贈呈式を  
開催しました

3月24日に当金庫本部にて、令和7年度に「へきしんサステナビリティ・リンク・ローン(以下:へきしんSLL)」をご成約された事業者さまに対し、記念盾の贈呈式を開催いたしました。

当金庫は、引き続き「へきしんSLL」を活用して地域事業者の皆さまの脱炭素経営を支援していくことで、地域社会の脱炭素化に貢献してまいります。



令和7年度 ご成約企業

ご成約企業さまからコメントをいただきました

株式会社マルワさま



印刷会社として、環境活動、社会貢献を大切にしてきました。持続可能な社会の実現に向けた取組みが評価され大変光栄です。今後も地域とともに成長し、環境・社会への貢献を続けてまいります。

株式会社総合アドさま



弊社は名古屋市で主に各種SNSやWEB広告を取り扱う広告代理店です。ESGへの取り組みは中長期経営計画の柱の一つであり、弊社のみならず地域へのカーボンニュートラル浸透に寄与します。

株式会社鈴木鉄筋さま

株式会社鈴木鉄筋

SLLの目標値を社内でも共有することで省エネ意識の高まりにつながりました。地域の建設業界のリーディングカンパニーとして脱炭素化を推進してまいります。

有限会社大台メンテナンスさま



当社は令和4年に環境方針を定めました。今回のへきしんSLLの取組みをきっかけに改めて社員一同環境方針について認識することが出来ました。

有限会社井鈴工業所さま



弊社は金属の表面加工業で動力や熱源のために電力を常に消費しています。この電力を太陽光発電によってまかなうことで電力コストの削減と脱炭素経営を両立させてまいります。

株式会社はちどりさま



持続可能な社会の実現に向け、善を積み重ねる「ちょっとを、ずっと」を続けてまいります。地球にやさしい教育環境と交通安全の基盤を整え、脱炭素経営を着実に推進してまいります。

株式会社エフェクトメイジさま



本表彰を励みに、持続可能な社会の実現と企業価値向上にスタッフとともに一層邁進してまいります。

株式会社須藤事務所さま



この度のへきしんSLLの取組みは、地域貢献への第一歩や社内での意識ある取組みとして非常に良い機会になりました。

有限会社宮田工業さま



弊社は愛知県東浦町で型枠・土木業を営んでおります。建設業に於いても脱炭素化は必要不可欠な状況となっており、SLLを通して軽油代替燃料の使用、社屋の採光工夫等長期的に取り組む発信して参ります。

株式会社鬼頭精器製作所さま



「使い捨て」から「修理・再利用」へ。当社の回転工具修理は、資源を循環させ、脱炭素社会の実現に貢献しています。

「へきしんSLL」の詳細につきましては、お近くの店舗にお問い合わせください。

地域の“今”と“これから”  
パロマ瑞穂スタジアム



〈表紙の写真〉

2021年より建て替え工事が進められてきたパロマ瑞穂スタジアムが、2026年4月22日に供用開始を迎えます。新スタジアムは陸上競技やサッカー、ラグビーなど多様な競技・大会の舞台となり、フィールドを約360度包みこむ、全席屋根付き・約3万席のスタンドを備え、どの席からでも見やすいよう配慮された設計が特長です。

また、平常時にはコンコースが開放され、市民誰もが運動や憩いの場として利用できます。本格的なトラックを活用した、ウォーキングやランニングを気軽に楽しめる環境も魅力です。

第20回アジア競技大会・第5回アジアパラ競技大会のメイン会場を担い、世界中のアスリートを迎える舞台としても大きな注目を集めています。



愛知県安城市御幸本町15番1号  
(vol.70 2026年4月発行)